

# 入選 低学年の部 大すきなおとうさん

鹿児島県  
鹿児島市立明和小学校 二年

牧 紗寧

「ただいまめ。」と言って、おとうさんはしごとからかえってきます。「おかえりんご。」と言って、わたしともうとはげんかんにいきます。そのときわたしは、おもしろいのでたのしい気もちになります。ニコニコえがおになります。

休みの日には、クイズのこたえやしゆくたいがまちがつているときおとうさんは、「おならプップー。」と言います。そのときわたしは、こたえがまちがつていてざんねんだけど、わらってしまいます。ときどき「おならプップー。」と言いながら本当におならをします。わたしはタイミンクよくできないので、「すこいね。」と言います。するとおとうさんもおかあさんも、わたしとも大わらいします。

そんなおとうさんのしごとは、けいさつかんで、ことう通じこのげんいんをしらべたり、みんながこう通ルールをまもってじこがなくなるようにパトロールをしたりしています。日曜日でもま夜中でも、しごとをしています。わたしは、夜はくらくてこわいし、ねむたいのでしごとは大へんだろうなと思います。だから、休みの日はおとうさんを九じまでおこしません。ゆつくりねてほしいからです。わたしは、つかれていてもいつもじょうだんを言わわらせてくれる、おもしろいおとうさんが大すきです。しごとをがんばってかぞくやちいきの人をまもってくれるかっこいいおとうさんが大すきです。わたしも、いろいろな人をわらわせて、たのしいきもちにさせたいです。おとうさん、いつもありがとう。